



株式会社 アイ・ディー・エクス

ポータブル電源  
《 IPS-1600A-B / IPS-1600A-Y 》  
取扱説明書



このたびは当社製品をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、この取扱説明書はいつでもご覧になれるよう、お手元に大切に保管  
してください。  
本製品をはじめてご使用になるときは、充電してからご使用ください。

# 目次

はじめに .....	1
安全上のご注意 .....	1
製品の概要.....	5
梱包内容 .....	6
各部の名称 .....	7
持ち運ぶ・移動する.....	11
充電する .....	14
AC出力周波数設定方法 .....	15
電気製品へ電力を供給する .....	16
UPS機能の使い方 .....	18
セルフテスト（自己診断テスト）.....	20
お手入れと保管のしかた.....	21
製品内蔵バッテリーについて .....	22
故障かな?と思ったら .....	23
仕様 .....	24
保証とアフターサービス .....	26
巻末 製品保証書	

# はじめに

## 取扱説明書を読むにあたって

- この取扱説明書は、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきまして、万が一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

### △注意

- ・人体/生命に重大な影響を及ぼすような医療機器には使用しないでください。
- ・機能・精度等において高い信頼性・安全性が必要とされる以下の用途では使用しないでください。  
宇宙機器、通信機器（幹線）、原子力制御機器、防災防犯装置、情報機器、運送機器（航空、列車、自動車等）の制御や各種安全性に関わる機器 等
- ・日本国内専用です。日本国外で使用しないでください。

## 安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使い頂くために、ご利用前に必ず次のことをお守りください。

### ◆「安全上のご注意」を必ずお守りください。

本取扱説明書の注意事項を良くお読みになり、必ずお守りください。

### ◆定期的な点検を行ってください。

半年に一度は充電用入力ケーブルが傷ついていないか、電源プラグとコンセントの間にホコリがたまっていないか、電源プラグは根元まで確実に差し込まれているか、吸排気口にゴミ、ホコリがついていないか、などを点検してください。また、セルフテスト（自己診断テスト）を定期的実施するようにしてください。（☞20ページ「セルフテスト（自己診断テスト）」）

### ◆故障したときは使わないでください。

動作の異常や破損に気がついた場合には、使用を中止し、販売店にご連絡ください。

### ◆万一、異常が発生した場合。

下記に示すような異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。本体コンセントおよびお使いの電気製品の電源プラグを全て外し、本体の主電源をOFFし、販売店にご連絡ください。

- 本体、充電用入力ケーブル、プラグが異常に熱い・こげくさいにおいがするとき
- 内部に金属などの異物が入ったとき
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えてしまったとき。

この取扱説明書には、安全にお使いいただく為にいろいろな記載をしています。

その記載を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

内容をよく理解してから、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

△危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う恐れが高いものを示しています。
△警告	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う恐れがあるものを示しています。
△注意	誤った取り扱いをした場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があるものを示しています。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、ならびに治療の為に入院や長期の通院を要するものをいいます。
- ・傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをいいます。
- ・物的損害とは、家屋、家財および家畜やペットにかかわる拡大損害をいいます。

## ⚠危険

- 蓋を開けない。
  - ・感電、けがの原因になります。
- 分解、改造、修理はしない。
  - ・感電、発熱、火災などの原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。また、変形、破損した場合は使用しない。
  - ・火災ややけど、感電やけがの原因になります。
- 火の中への投入や加熱をしない。
  - ・発熱、発火、破裂の原因になります。
- 火のそばや炎天下、ストーブの近く、高温になった車の中など、高温な場所で使用、保管しない。
  - ・発熱、発火、破裂の原因になります。
- 充電用インレット、出力コンセントに金属、水、紙などを差しこんだり、中に入れたりしない。
  - ・火災、感電、故障の原因になります。
- 本製品内部からもれた液体に触れない。目に入ったときは、こすらず大量の水道水（きれいな水）で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
  - ・失明などの原因になります。
- 結露しやすい場所、風呂場などの湿った場所で充電、使用、保管をしない。また、水洗いしない。
  - ・感電、発熱、火災の原因になります。
- ぬれた手で本製品や接続する電気製品のプラグに触れない。
  - ・感電するおそれがあります。
- 一般のゴミとして廃棄しない。
  - ・ゴミ集積場やゴミ収集車内において、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。
  - ・廃棄の際は、お住まいの自治体に廃棄方法をお問い合わせください。
- 充電用入力ケーブルを循環接続しない。
  - ・充電用インレットに差し込まれた充電用入力ケーブルのプラグを出力コンセントに差し込まないでください。
  - 感電、発熱、火災などの原因になります。
- 出力コンセントには電力会社からの電気配線や屋内配線を絶対に接続しない。
  - ・感電や火災の原因になります。
- 転倒、落下しやすい場所（机、家具、棚の上などの高い所）や、床面が不安定な所（傾斜面など）に置かない。
  - ・本製品が転倒した場合、けがや重大な事故につながります。
- 物を載せたり、座ったりしない。
  - ・感電、発熱、火災など本体破損の原因になります。
  - ・転倒し、けがをするおそれがあります。
- 充電中または使用中は、本製品を移動しない。
  - ・移動に伴う振動や衝撃によって、発熱による火災や感電などのけが、本体破損の原因になります。
- 使用中に吸排気口を触らない。
  - ・感電、けが、故障の原因になります。
- 本製品に直接、または付近で薬剤散布をしない。
  - ・発熱、発煙、感電の原因になります。
- 本製品の近くに水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを発生する機器を置かない。
  - ・発熱、発煙、感電の原因になります。

## ⚠危険

- 充電中に異臭、発熱、発煙が発生した場合は、主電源スイッチを OFF にし、充電用入力ケーブルを抜いてください。
  - ・電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。
- 使用中に異臭、発熱、発煙が発生した場合は、お使いの電気製品の AC プラグを本製品のコンセントから抜いてください。
  - ・電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。

## ⚠警告

- 本製品を使用、また保管する場所は清潔にしてください。
  - ・粉塵や小さな金属物などが端子部、製品内部に入ると、短絡して、発煙や発火のおそれがあります。
- 使用する前に必ず点検してください。
  - ・ワレ、カケ、ヒビなど、液漏れ、発熱などの異常、充電用入力ケーブルの損傷などが発見された場合は直ちに使用をやめて、お買い求めの販売店、または当社にご連絡ください。
- 漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、こすらず、すぐに大量の水道水（きれいな水）で洗った後、医師の診断を受けてください。
  - ・皮膚に障害を起こす原因になります。
- 小さなお子様には使用させないでください。また、幼児の手の届く場所には設置、保管しないでください。
  - ・本製品が転倒した場合、けがや重大な事故につながります。
- 海岸やほこりの多い所での長時間のご使用はおやめください。
  - ・発煙、発火を起こすことがあります。
- 充電用入力ケーブルを破損させるようなこと（引っ張ったり、折り曲げたり）はしないでください。
  - ・傷んだまま使用すると、発火や感電の原因になります。
- 充電用入力ケーブルのプラグは根元まで確実に差し込んでください。
  - ・差し込みが不完全の場合は、感電や発熱による火災の原因になります。
- 充電用入力ケーブルは付属品、または 15A 以上流せるものを使用してください。
  - ・火災、発煙、故障、動作不良の原因になります。
- 充電中に雷が近づいた時には、ただちに充電用入力ケーブルをコンセントから抜いてください。
  - ・落雷により、コンセントから大電流が流れ、故障、発熱、発火、火災などの原因になります。
- 段差の高い床面を移動する際は、本体キャスター、キャリアハンドルは使わず、本体の折り畳みハンドルを使い、持ち上げて移動してください。
  - ・キャスターを使って、高い床面の段差を乗り越えるとキャスターの破損、本体故障の原因となります。
  - ・キャリアハンドルを使い、製品を持ち上げるとキャリアハンドルが破損し、けがをするおそれがあります。
- 下図の置き方を守って、使用又は保管してください。
  - ・故障や発熱、火災の原因になります。

使用時 ○  
保管時 ○

使用時 ✕  
保管時 ○

使用時 ✕  
保管時 ✕



## ⚠警告

- 吸排気口などにももの（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れないでください。
  - ・火災、感電、故障の原因になります。
- 災害などにより本製品が浸水、水没、変形、破損などした場合は使用しないでください。
  - ・感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、製品から電解液が漏れるなどの危険がありますので、すみやかに買い上げの販売店にご連絡ください。
- 本製品を塗装しないでください。
  - ・故障や発熱、火災の原因になります。
- 本製品をビニールなどで囲ったり、覆った状態で使用しないでください。
  - ・故障や発熱、火災の原因になります。

## ⚠注意

- 雨の中や内部に水が浸入する場所では使用しないでください。また、保管しないでください。
  - ・感電、発熱、火災などの原因になります。
- ご使用の際は電源のプラグとコンセントの間にホコリがたまっていないことを確認してください。
  - ・発熱、発火による火災発生の原因になります。
- 本製品を薬品（シンナー等）で拭かないでください。
  - ・印刷が消える、変色の原因になります。
- 本製品は重量物です。お取り扱いにご注意ください。
  - ・腰痛やけがの原因になります。
- 自動車などで運搬する際は、本製品が動かないようにしっかり固定してください。
  - ・本体破損により、感電、発熱、火災などの原因になります。
- 充電する際は、周囲温度が-10℃～40℃の範囲内で充電してください。
  - ・本製品の故障の原因になります。
- 振動する場所に長時間置かないでください。
  - ・故障の原因となります。
- 標高1500m以下のところに設置してください。
  - ・本製品に悪影響を与え、故障するおそれがあります。
- 電氣的雑音の影響を受ける装置は本製品から離してください。
  - ・本製品から発生する電氣的雑音がテレビや、近隣のアマチュア無線の通信や、ラジオなどの受信、ペースメーカー、人工内耳、補聴器、除細動器等の通常動作に影響を与えることがあります。
- 吸排気口を塞いだり、吸排気口付近に荷物を置いたりしないでください。
  - ・温度上昇により、本製品が停止する可能性があります。
- 移動は慎重に行ってください。
  - ・本製品に体が挟まり、けがをするおそれがあります。
- 短期間でも本製品のバッテリーを電池残量のステータスが点灯した状態では放置しないでください。
  - ・バッテリー性能及び寿命を低下させるとともに、充電することが出来なくなります。
- 長時間使用しない場合は、充電してから保管してください。
  - ・バッテリーは徐々に放電していきます。完全放電にいたるとバッテリーを新品に交換する必要があります。6か月に一度は電池残量を確認してください。

## ⚠注意

- 使用する電気製品に周波数仕様がある場合、本製品のAC出力の周波数を合わせてご使用ください。
  - 使用する電気製品の周波数と異なる場合、正しく動作しない、または故障する可能性があります。  
(周波数の設定方法は➡15ページ「AC出力周波数設定方法」)
- 本製品は通信機能を有していません。その為、UPSとして本製品を使用する場合は本製品に異常が発生していないか、定期的に表示パネルのステータスLEDをご確認ください。
  - 異常が発生した状態で放置した場合、停電時に正常にバックアップ運転に切り替わらない可能性があります。

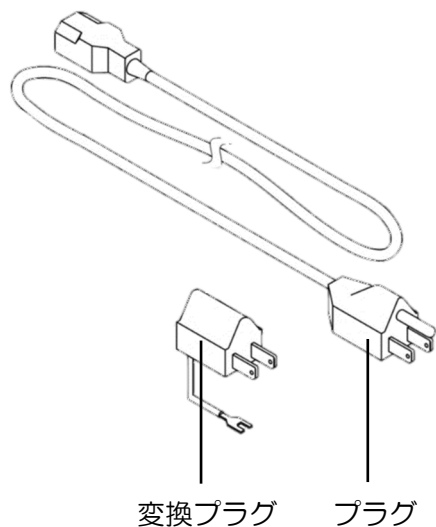
## 梱包内容

製品を梱包箱から取り出したら、以下のものが入っていることを確認してください。  
また、製品本体にへこみ、ゆがみがない事をご確認ください。

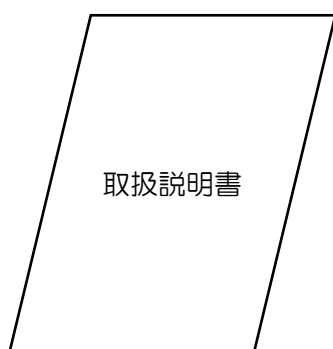
- 製品本体×1



- 充電用入力ケーブル×1（変換プラグ付）

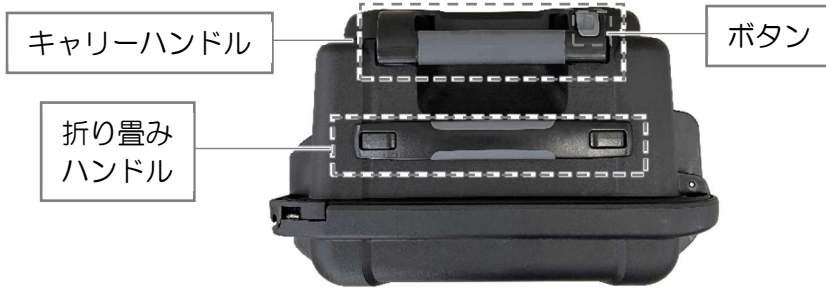


- 取扱説明書（保証書付き）×1





# 各部の名称



上面



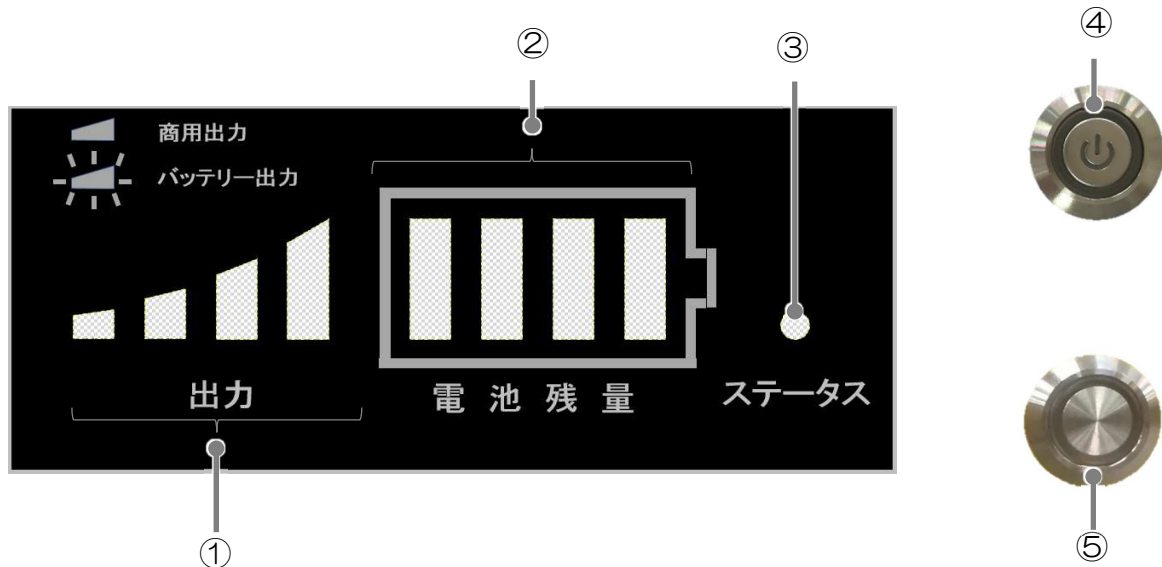
前面

背面



側面

## 操作／表示部（拡大図）



番号	名称	機能
①	AC 出力電力 LED	AC 出力の消費電力に応じて点灯 商用出力時は点灯、バッテリー出力時は点滅
②	電池残量 LED	電池残量に応じて点灯 充電中は点滅
③	ステータス LED	警告灯 (⇒ 10ページ)
④	主電源スイッチ	本製品の電源 ON・OFF に使用
⑤	AC 出力スイッチ	AC 出力の ON・OFF に使用

### ●AC 出力電力 LED

出力コンセントの消費電力を表示します。  
出力の目安としてお使いください。

#### ・商用出力時

「AC 出力電力 LED」 表示	「AC 出力電力 LED」 の点灯・点滅数	目安消費電力 (W)
	1 個点灯	0~400W
	2 個点灯	400~700W
	3 個点灯	700~950W
	4 個点灯	950W以上

#### ・バッテリー出力時

「AC 出力電力 LED」 表示	「AC 出力電力 LED」 の点灯・点滅数 ※1	目安消費電力 (W)
	1 個点滅	0~400W
	2 個点滅	400~700W
	3 個点滅	700~950W
	4 個点滅	950W以上

※1 1 秒点灯⇔1 秒消灯の繰り返し

●電池残量 LED

電池残量を表示します。  
電池残量の目安としてお使いください。

・電池残量表示

「電池残量 LED」 表示	「ステータス」 表示	「電池残量 LED」 の点灯・点滅数	「ステータス」 の点灯・点滅数	目安残量
	● ※ブザー音が鳴ります (10 秒毎)	1 個点灯	点灯	0~5%※2
	●	1 個点灯	点灯	5~10%※2
	○	1 個点灯	消灯	10~25%
	○	2 個点灯	消灯	25~50%
	○	3 個点灯	消灯	50~75%
	○	4 個点灯	消灯	75~100%

※2 電池残量 LED が 1 個点灯、ステータスが点灯したときは、充電をしてください。  
電池残量が 5%以下になると、さらにブザー音が鳴ります(10 秒毎)ので、  
速やかに充電してください。充電を開始すると、ブザー音は止まります。

・充電中

「電池残量 LED」 表示	「ステータス」 表示	「電池残量 LED」 の点灯・点滅数※3	「ステータス」 の点灯・点滅数	目安残量
	○	1 個点滅	消灯	0~25%
	○	2 個点滅	消灯	25~50%
	○	3 個点滅	消灯	50~75%
	○	4 個点滅	消灯	75~100% (満充電)






※3 1 秒点灯⇔1 秒消灯の繰り返し

△注意

- 電池残量表示は使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。
- 長期に使用されない場合でも、徐々に放電していきますので、定期的に電池残量を確認いただき、少ない場合には充電してください。
- 長期間保管する場合は、必ず満充電にしてから保管ください。

## ●ステータスLED

主電源スイッチを押した後、製品の異常状態を表示します。

ステータスLEDの表示	内容	対処
 点滅 (約2秒毎の点滅)	過温度保護/低温度保護 (電池、または回路の低温、高温による停止状態)	故障ではありません。 仕様範囲内の周囲温度でご使用ください。 適切な温度になると自動復帰します。
 点滅 (約1秒毎の点滅) <b>※ブザー音が鳴ります</b>	電池残量警告	電池残量が空です。 直ちに充電してください。※4
 点滅 (約0.5秒毎の点滅)	電池または回路のその他の異常	主電源をOFFし、再起動してください。 再起動後も症状が変わらない場合、故障の可能性があります。直ちに使用をおやめください。 お買い求めの販売店、もしくは当社にご連絡ください。
 点滅 (1秒点灯⇔0.25秒消灯の繰り返し)	過負荷保護	1000Wを超える電気製品が接続されています。 接続する電気製品の合計消費電力を下げた後、主電源をOFFし、再起動してください。
 点滅 (0.25秒点灯⇔2秒消灯の繰り返し)	バッテリー寿命 ※5	バッテリーに充電出来る容量が半分程度になっています。 充電出来る容量が低下しても引き続きご利用頂けますが、満充電まで充電し、エラーが継続発生している場合はバッテリー交換をおすすめします。

※4 充電せずに放置・保管した場合、バッテリーが劣化し、バッテリー交換が必要になります。

※5 保管/使用環境、使用条件によってバッテリー寿命は変わります。

### ▲注意

UPS 運転モードで且つ、停電発生していない時に上記表示が発生しても、接続された機器への電力供給が継続する場合があります。その場合、停電発生時に正常に非常用電源モードに切り替わらない可能性がありますので、使用の電気製品を正しい手順で終了した後、記載の対処を実施してください。

# 持ち運ぶ・移動する

## 持ち運ぶ

1. 折り畳みハンドルを引き上げる



### ⚠注意

- 丁寧にお取り扱いください
- 持ち運ぶ際は、主電源が OFF になった状態、また製品に何も接続せず、コンセントカバーを閉じ、保護プラグを付けてください。

2. ハンドルを持って運ぶ



### ⚠注意

ハンドルをしっかり持って運んでください。

3. 安定した場所に置く



### ⚠注意

- 丁寧にお取り扱いいただき、ゆっくりと慎重に置いてください。
- 本製品を置く際、ハンドルに指などが挟まれないよう注意してください。

本製品が安定して置ける場所へ置いてください。



不安定な場所へ置かないでください。

## 移動する

1. キャリーハンドルのボタンを押しながら、引き上げる。



### ⚠ 注意

- 丁寧にお取り扱いください。
- 移動する際は、主電源が OFF になった状態、また製品に何も接続せず、コンセントカバーを閉じ、保護プラグを付けてください。
- キャリーハンドルは2段階の高さで使用出来ます。必ず“カチッ”と音がし、キャリーハンドルが固定されたことを確認ください。

2. キャリーハンドルを持ってキャスターで移動する。



### ⚠ 注意

本体キャスターは屋内移動、または自動車等から設置場所までの短い距離の運搬用になります。本体キャスターを使用した一般道路での運搬や長距離の運搬は控えるようにしてください。

3. 安定した場所に置く。



本製品が安定して置ける場所へ置いてください。



不安定な場所へ置かないでください。

### ⚠ 注意

- 丁寧にお取り扱いいただき、ゆっくりと慎重に置いてください。
- 本製品を置く際、ハンドルに指などが挟まれないよう注意してください。

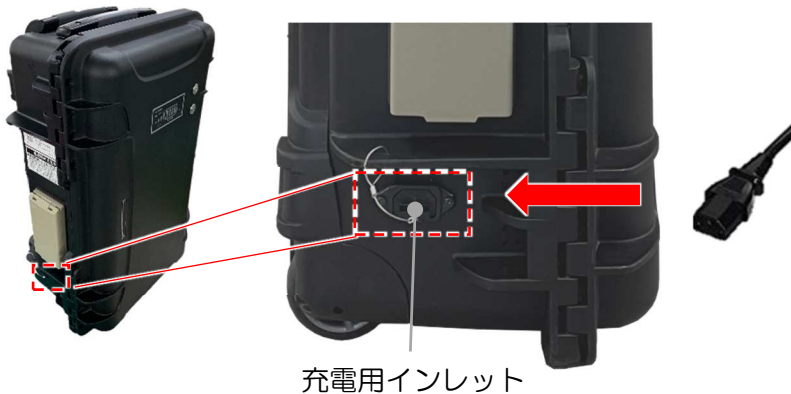
4. キャリーハンドルのボタンを押しながら、ハンドルを収納する。



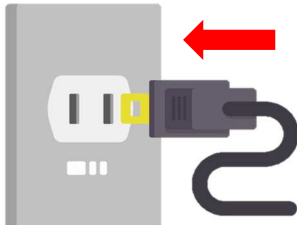
**⚠ 注意**  
必ず“カチッ”と音がし、キャリーハンドルが固定されたことを確認ください。

# 充電する

1. 充電用インレットに付いている保護プラグを外し、付属品の充電用入力ケーブルを充電用インレットへ接続する。



2. 充電用入力ケーブルのプラグを商用コンセントへ接続する。

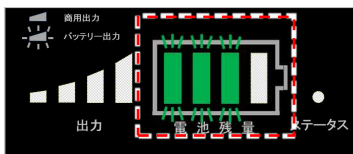


- 充電用入力ケーブルが商用コンセントへ接続されると、自動で本製品が起動します。本製品が起動すると「主電源スイッチ」が点灯します。（主電源スイッチを長押し(約 2 秒)し、本製品の起動後、充電用入力ケーブルを充電用インレットへ接続しても充電します）

主電源スイッチ



- 充電が開始すると「電池残量 LED」が点滅します。



3. 充電が完了する。（充電時間：約 5.5 時間）
  - 充電が完了すると、電池残量 LED が 4 個全て点灯します。
  - 充電完了後は、約 1 分後に主電源スイッチ、表示がすべて消灯します。
  - 充電完了後は、充電用入力ケーブルを本体から外し、本体の充電用インレットに保護プラグを挿入する。
  - 途中で充電を停止する場合は、充電用入力ケーブルを充電用インレットから外す。

## ⚠ 注意

- 本製品は縦置きで使用してください。
- 本製品を移動して周囲温度が大きく変化したときは、しばらく経ってから充電してください。
- 充電用入力ケーブルのプラグを奥まで確実に差し込んでください。
- 延長コードなどを使用して充電用入力ケーブルを延長するときは 15A 以上流せるものを使用してください。

## ⚠ 注意

−10℃~40℃の環境で充電してください。

## ⚠ 注意

起動中及び停止中に「主電源スイッチ」「AC 出力スイッチ」を押した際、製品が反応しないことがあります。故障ではありませんので 10 秒程お待ちいただき、改めてスイッチを押してください。

## ⚠ 注意

電池残量 LED は電池残量により点滅する個数が変わります。

## ⚠ 注意

- 充電時間は周囲温度や内部の電池状態によって変わることがあります。
- 充電中、主電源スイッチは無効になります。
- 満充電後、充電用入力ケーブルを挿入したままの場合、電池残量が一定以下(85%)になるまで充電されません。
- 「AC 出力スイッチ」ON 時の場合、充電完了後も自動停止しません。



# AC出力周波数設定方法

工場出荷時のAC出力周波数は“50Hz”に設定されています。  
ご使用になる電気製品に周波数仕様がある場合は下記手順にて周波数の設定をしてください。

(必要なもの)

- 50Hz または60Hz のAC100V電源、または商用電源

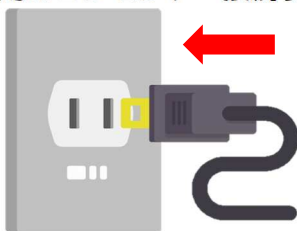
1. 充電用インレットに付いている保護プラグを外し、  
付属品の充電用入力ケーブルを充電用インレットへ接続する。



## △注意

充電用入力ケーブルのプラグを奥まで確実に差し込んでください。

2. 充電用入力ケーブルのプラグを周波数の設定されたAC電源、  
または商用のコンセントへ接続する。



## △注意

商用電源を使用する場合はお住まいの地域の周波数に設定されます。

- 充電用入力ケーブルが商用コンセントへ接続されると、  
自動で本製品が起動します。  
本体の主電源スイッチが点灯し、製品が起動した際の  
入力周波数にて周波数が設定・記憶されます。

主電源スイッチ



## △注意

充電中、主電源スイッチは無効になります。

3. 充電用入力ケーブルを充電用インレットから外し、  
本体の主電源スイッチを**長押し(約2秒)**する。
  - 本体の主電源スイッチが消灯し、停止している事を確認する。

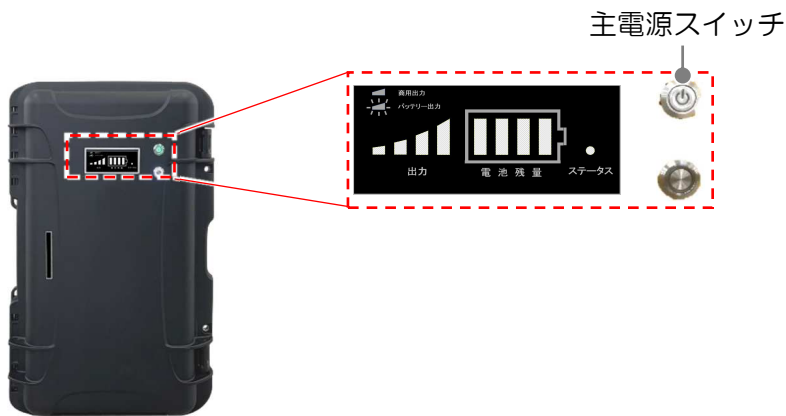
## △注意

充電用インレットへ入力されたAC電圧の周波数(50Hzまたは60Hz)にて設定されます。  
周波数設定後に異なる周波数で充電した場合は、充電時の入力周波数に更新されますので、ご注意願います。

# 電気製品へ電力を供給する

## 電力を供給する

1. 本体の主電源スイッチを**長押し（約2秒）**する。

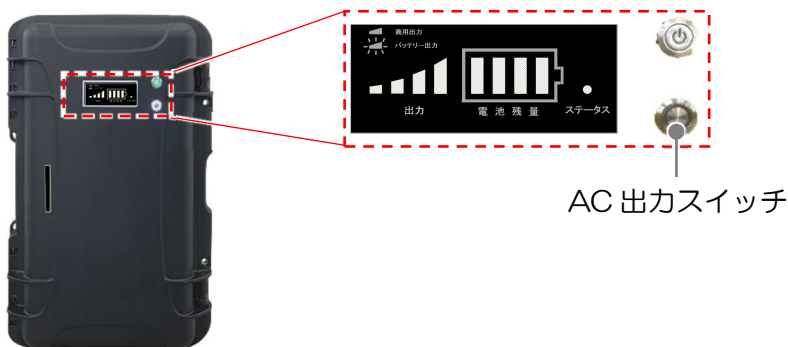


- 製品が起動すると、「電池残量 LED」が**点灯**します。

### ⚠注意

- 本製品は縦置きで使用してください。
- 本製品を移動して周囲温度が大きく変化したときは、しばらく経ってから使用してください。
- 電池残量 LED は電池残量により、点灯する個数が変化します。

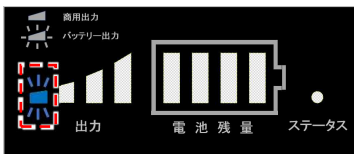
2. 本体の AC 出力スイッチを**押す**。  
AC出力スイッチが白く点灯したら、離す。



### ⚠注意

AC出力スイッチを押す時間が長いとセルフテストへ移行します。  
➡ 20ページ「セルフテスト（自己診断テスト）」

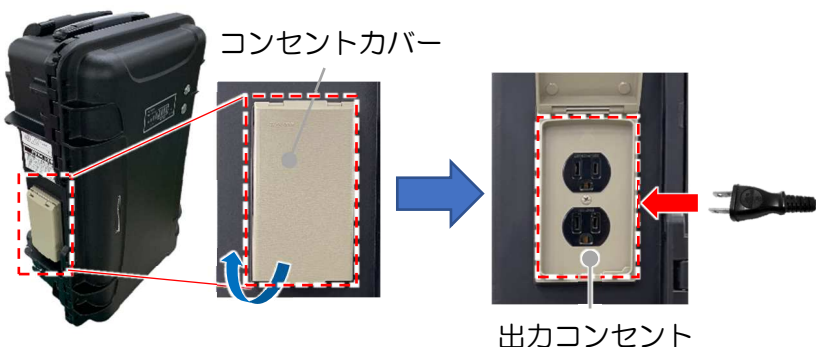
- AC100V が出力状態になると本体の「AC 出力電力 LED」の内、**1 個が点滅**します。



### ⚠注意

起動中及び停止中に「主電源スイッチ」「AC 出力スイッチ」を押した際、製品が反応しないことがあります。故障ではありませんので 10 秒程お待ちいただき、改めてスイッチを押してください。

3. 本体のコンセントカバーを開け、電気製品の AC プラグを出力コンセントへ差し込む。



### ⚠注意

- $-10^{\circ}\text{C}$  から  $40^{\circ}\text{C}$  の環境でご使用ください。
- 電気製品を接続する前に必ず、使用する電気製品が電源オフであることを確認してください。

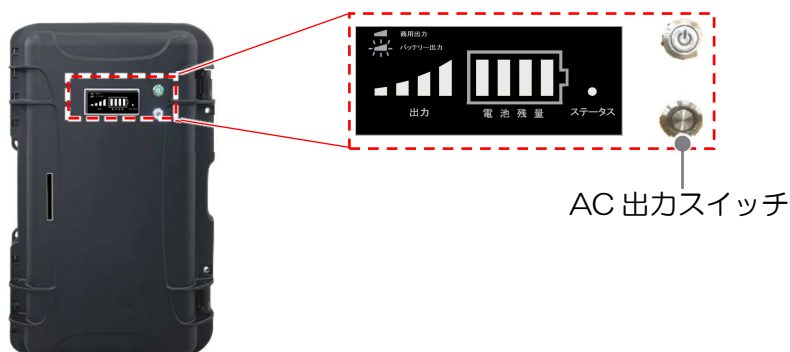
4. 電気製品を使用する。
  - 使用する電気製品の電源を ON する。

### ⚠注意

接続する電気製品の取扱説明書をよくお読みください

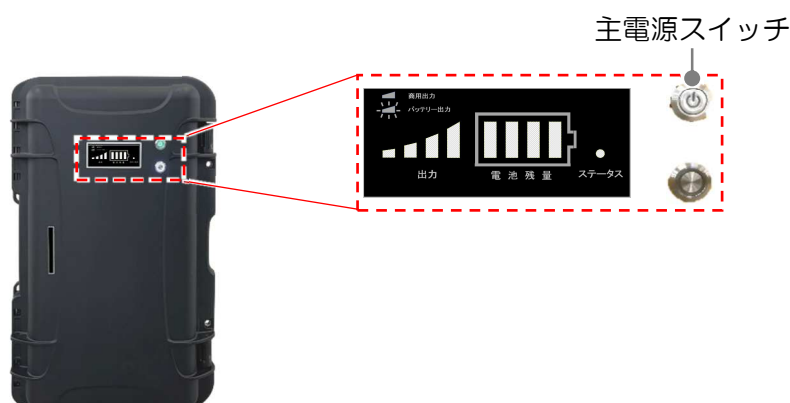
## 電力の供給をやめる

1. 使用する電気製品の電源をOFFする。
2. 本体のAC出力スイッチを**押す**。



- AC100V の出力が停止すると本体の「AC出力電力LED」が消灯します。

3. 本体の主電源スイッチを**長押し（約2秒）**する。



- 製品が停止すると本体の「主電源スイッチ」が消灯します。

4. 使用の電気製品のプラグを出力コンセントから抜き、本体のコンセントカバーを閉じる。

### ⚠注意

使用しない場合は、必ずAC出力スイッチ、主電源スイッチをOFFしてください。  
ONの状態では放置した場合、バッテリーが消耗し、完全放電にいたるとバッテリーを新品に交換する必要があります。

# UPS 機能の使い方

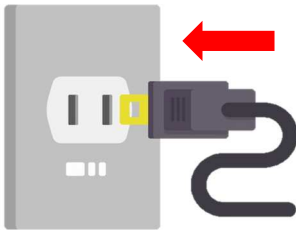
1. 充電用インレットに付いている保護プラグを外し、付属品の充電用入ケーブルを充電用インレットへ接続する。



## ⚠注意

- 本製品は縦置きで使用してください。
- 充電用入ケーブルのプラグを奥まで確実に差し込んでください。延長コードなどを使用して充電用入ケーブルを延長するときは15A以上流せるものを使用してください。

2. 充電用入ケーブルのプラグを商用コンセントへ接続する。



## ⚠注意

起動中及び停止中に「主電源スイッチ」「AC出力スイッチ」を押した際、製品が反応しないことがあります。故障ではありませんので10秒程お待ちいただき、改めてスイッチを押してください。

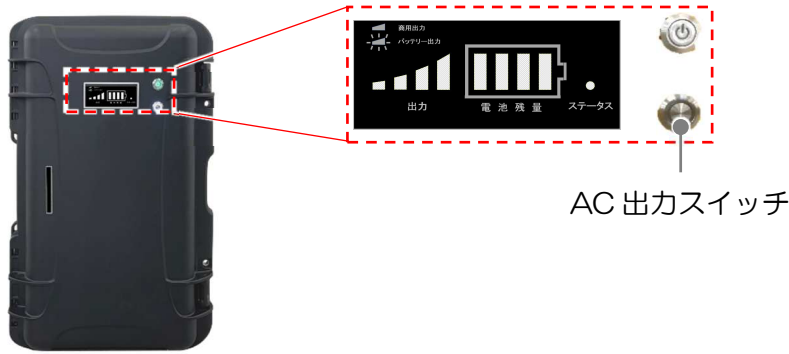
- 本製品と商用コンセントが接続されると、自動で本製品が起動します。本製品が起動すると「主電源スイッチ」が点灯します。

主電源スイッチ



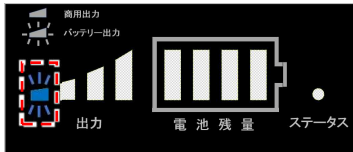
- 製品が起動すると、「電池残量LED」が点灯または、点滅します。電池残量により、点灯または点滅する個数が変化します。4個点灯は満充電状態で、点滅は充電中の表示になります。

3. 本体の AC 出力スイッチを押す。  
AC 出力スイッチが白く点灯したら、離す。

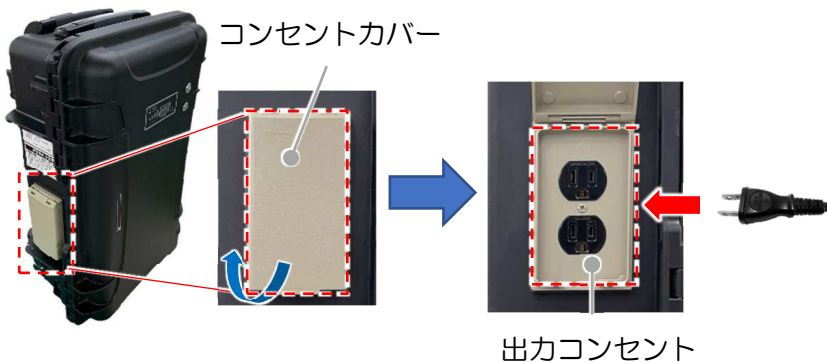


AC 出力スイッチ

- AC100V を出力すると本体の「AC 出力電力 LED」の内、**1 個が点灯**します。



4. 本体のコンセントカバーを開け、電気製品の AC プラグを出力コンセントへ差し込む。



出力コンセント

5. 使用する電気製品の電源を ON にする。
- 使用する電気製品の消費電力に応じ、AC 出力電力 LED が点灯します。
6. 停電時（入力電圧低下）
- 停電時に、製品は自動でバッテリーからの出力へ切り替わります。バッテリーからの出力時は AC 出力電力 LED が**点灯から点滅**へ切り替わります。

#### ◆UPS 機能の動作確認

- 入力（充電用インレット）の充電用入力ケーブルを抜き、疑似的に停電状態にして、電気製品が正常に動作していることを確認できます。  
正常に動作していることを確認した後、充電用入力ケーブルを入力（充電用インレット）へ接続し、商用出力（AC 出力電力 LED が**点滅から点灯**）へ切り替わっていることを確認し、そのままご使用ください。

#### ⚠注意

AC 出力スイッチを押す時間が長いとセルフテストへ移行します。  
➡ 20 ページ「セルフテスト（自己診断テスト）」

#### ⚠注意

電気製品を接続する前に必ず、使用する電気製品が電源オフであることを確認してください。  
接続する電気製品の取扱説明書をよくお読みください。

#### ⚠注意

停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本製品からの電力供給が停止します。本製品が稼働して電圧を供給している間にお使いの製品を正しい手順で終了するようにしてください。

#### ⚠注意

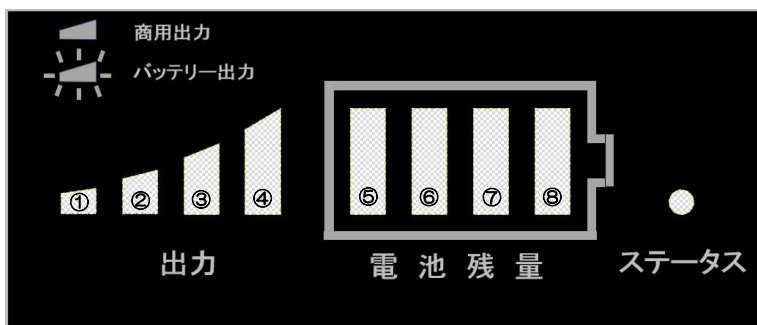
入力（充電用インレット）に電源を接続しない場合でも電気製品は使用可能ですが、バッテリーに蓄えられている電気を使ってしまうので、UPS 機能としてお使いになる場合は入力（充電用インレット）へ充電用入力ケーブルを接続し、AC 出力電力 LED が点灯している状態でご使用ください。

# セルフテスト（自己診断テスト）

セルフテストは、バッテリーのチェックや本製品が正常に動作しているかをテストする機能です。下記手順にてセルフテストを行うことができます。

1. 充電用インレットに付いている保護プラグを外し、付属品の充電用入力ケーブルを充電用インレットへ接続する。
2. 充電用入力ケーブルのプラグを商用コンセントへ接続する。本製品と商用コンセントが接続されると、自動で本製品が起動し、「主電源スイッチ」が点灯します。
3. 本体の AC 出力スイッチを長押し（約4秒）する。AC出力スイッチが白く点灯した後、「ピッ」とブザー音1回とともに消灯し、セルフテストへ移行します。AC出力スイッチが消灯したら、離す。

セルフテスト中は表示パネルが下図の①から⑧まで順にブザー音とともに点滅します。



## ⚠注意

セルフテストを開始する前に必ず、本製品の出力コンセントに電気製品が接続されていないことを確認してください。

## ⚠注意

- “ピ、ピ、ピッ”とブザー音が3回鳴り、セルフテストに移行しない場合は、充電用入力ケーブルで商用コンセントと本製品の充電用インレットが接続されているか確認してください。
- セルフテスト中はAC出力スイッチが不定期に点灯、消灯しますが、異常ではありません。

4. 製品が正常な場合は、「ピッ」とブザー音が1回鳴り、通常表示「電池残量点灯 or 電池残量点滅」に移行します。
5. 製品が異常な場合は、「ピ、ピッ」とブザー音が2回鳴り、ステータスLEDが点滅します。10ページの「ステータスLED」の対処に従ってください。

# お手入れと保管のしかた

## お手入れのしかた

本製品をお手入れする前に、充電用入力ケーブルは外し、主電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

本製品の汚れは、水で薄めた中性洗剤や軽く水を含ませた布で落とし、乾いた布でふき取ってください。出力コンセントのコンセントカバーが閉じられていることと、充電用インレットに保護プラグが挿入されていることを確認し、出力コンセント、充電用インレットなど電気接続部には、水や洗剤が掛からないようにしてください。

### △注意

- 水洗いは行わないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。印刷が消えたり、変色するおそれがあります。

## 保管のしかた

長期間使用しない場合は、満充電にした後、主電源OFFになっていることを確認してから、場所・温度・湿度に注意して保管してください。

### △注意

- バッテリーは徐々に放電していきます。完全放電にいたるとバッテリーを新品に交換する必要があります。6か月に一度は電池残量を確認してください。
- ほこりの少ない場所、かつ、湿気が少なく、水気が無い場所に保管してください。
- 主電源が必ずOFFになっていることを確認してください。  
主電源及びAC出力スイッチがONの状態でも保管した場合、バッテリー残量警告が発生するまで動作し、容量が少ない状態での保管状態となります。
- 保管時は直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 本製品を本書と共に、梱包箱に収納し、保管することを推奨いたします。

### 取扱のポイント

- 残量が少ない状態で保管すると満充電状態に対し、短い期間で完全放電にいたりします。  
長期間保管する場合は、必ず満充電状態で保管してください。
- 長期保管する場合は、涼しいところ（20℃程度）に置き、バッテリーの性能劣化を抑制するために定期的に充電をすることをおすすめします。

# 製品内蔵バッテリーについて

## ●リチウムイオン電池を長持ちさせるには

- 充電、使用、保管の温度は仕様範囲内で使用、保管してください。(☞24 ページ「仕様」)  
電池が仕様温度範囲外の高温・低温になると、寿命低下の原因になります。
- 頻繁な過負荷使用を控えてください。  
本製品は適切に過負荷検出を行い出力停止しますが、その後の過負荷状態が頻繁に続くと、電池の寿命低下の原因になります。
- 電池残量警告(残容量0%時)のご使用を控えてください。  
本製品は適切に電池残量警告(残容量0%検出)を行い出力停止しますが、その後の再出力を頻繁に行うと、電池の寿命低下の原因になります。
- 使用しない場合は、主電源をOFFしてください。  
電池の無駄な消耗は寿命低下の原因になります。
- 保管時は、満充電にしてください。  
長期間ご使用にならない場合、本製品を満充電にしてから保管してください。また、6か月に1度は電池残量を確認いただき、少ない場合には充電してください。

## ●船舶や航空機で運ぶ際について

- リチウムイオン電池は、国連(UN)の「危険物輸送に関する勧告」により、Class9 危険物に分類されています。リチウムイオン電池を内蔵している本製品を船舶や航空機で運ぶ際には、法律や規則に従った対応が必要です。詳しくは輸送業者にご確認ください。

## ●本製品の廃棄について

- 本製品は一般廃棄物、産業廃棄物に該当しますので、適切に処置してください。
- 廃棄の際は、お住まいの自治体に廃棄方法をお問い合わせください。

### ⚠警告

- 本製品を家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。ゴミ収集車内や集積場での発煙、発火の原因になります。
- 分解、解体は絶対にしないでください。発熱、火災、感電、けが、破損の原因になります。



# 故障かな？と思ったら

下記対処で解決しない場合は、ただちにご使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	状態	主な原因	対処
充電 できない	充電が開始されない	充電するための電力が供給されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電用入力ケーブルを確実に差し込む</li> <li>充電用入力ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込む</li> </ul>
	表示ランプが本書10ページ記載の「ステータスLED」に該当する	10ページの「エラー復帰条件」による	10ページの「対処」に従う
	表示ランプが本書10ページに未記載の状態	回路故障による充電停止	ご使用をただちに止め、お買い求めの販売店に連絡する
電気製品が 使えない	電気製品を接続したが、動作しない	電気製品に電力が供給されていない	電気製品のプラグを出力コンセントに確実に差し込む
	電気製品が正常に動作しない	電源周波数が合っていない	お住まいの地域の周波数と電気製品の電源周波数が合っていることを確認する 合っていない場合は、電源周波数が合っている電気製品をご使用ください
	電気製品が動作していたが、しばらくしてブザー音が鳴った	電池残量警告により保護機能が作動し、出力停止した	ただちに充電してください※6
	電気製品が動作していたが、しばらくして停止した	過温度保護により保護機能が作動し、出力停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続する電気製品の合計消費電力を下げる（1000Wを越える過負荷の場合、過温度保護機能が作動し、出力停止します）</li> <li>吸排気口にゴミ、ホコリがついていないか確認する</li> <li>吸排気口付近に荷物が置かれていないか確認する</li> </ul>
	表示ランプが本書10ページ記載の「ステータスLED」に該当する	10ページの「エラー復帰条件」による	10ページの「対処」に従う
	表示ランプが本書10ページに未記載の状態	回路故障による出力停止	ご使用をただちに止め、お買い求めの販売店に連絡する
主電源がOFFする		主電源ONの状態のまま放置	異常ではありません (製品起動後、商用コンセントと接続しない、またはAC出力スイッチをONしない場合、約1分後に自動で主電源をOFFします)

※6 充電せずに放置しないでください。バッテリーが劣化し、完全放電にいたると新品に交換する必要があります。

# 仕様

## 【共通事項】

項目		仕様	
型式		IPS-1600A-B	IPS-1600A-Y
製品カラー		黒	黄
内蔵バッテリー		リチウムイオン電池	
バッテリー容量		1560Wh	
充放電サイクル※7		2000 サイクル 初期容量から 85%まで低下 5000 サイクル想定 初期容量から 60%まで低下	
使用環境条件	動作温度	-10~40℃	
	動作湿度	20%~85%RH (ただし、結露なきこと)	
	保存温度	-20~60℃	
	保存湿度	20%~85%RH (ただし、結露なきこと)	
構造	外形寸法	356mm×229mm×559mm(キャスター含む)	
	重量	25kg ※付属のケーブルを含まず	
	冷却方式	強制空冷(冷却ファン)	
	設置方法	縦置き	
AC 入力	定格入力電圧	AC100V	
充電時間※8	AC 充電	約 5.5時間 (周囲温度 25℃)	
保護回路	出力保護	過負荷、短絡	
	その他	バッテリー異常、温度異常	

※7 バッテリー周囲温度 25℃の参考値です。

使用温度環境や使用条件により性能は変化します。

※8 内蔵バッテリーの残量を使い切った状態から満充電にするまでの時間です。

周囲温度やバッテリーの残量によって変化します。

## 【非常用電源モード】

項目		仕様	
形式名		IPS-1600A-B	IPS-1600A-Y
方式		インバータ変換方式	
出力特性	出力電圧	AC100V	
	定格出力電力	1000VA	
	出力周波数	50Hz/60Hz	
	出力波形	正弦波	

【UPS 運転モード】

項目		仕様	
形式名		IPS-1600A-B	IPS-1600A-Y
方式		常時商用給電方式	
入力	入力電圧	AC100V	
	最大電流	15A	
	最大入力容量	1500W	
	入力周波数	50Hz/60Hz	
出力特性	出力電圧	AC100V	
	出力電力	1000VA	
	出力周波数	50Hz/60Hz(入力周波数と同じ)	
	出力波形	正弦波	
停電時	出力電圧	AC100V	
	定格出力電力	1000VA	
	出力周波数	50Hz/60Hz	
	出力波形	正弦波	
切替時間		10ms 以下	
充電時間※8		約 5.5 時間 (周囲温度 25℃)	

※8 内蔵バッテリーの残量を使い切った状態から満充電にするまでの時間です。  
周囲温度やバッテリーの残量によって変化します。

- この仕様は予告無く、変更することがあります。
- バッテリー製品は特性上、使用温度環境やバッテリーの劣化具合により性能は変化します。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- 保証期間は、お買上げ日より1年間となります。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証書は巻末に印刷されています。必ず販売店名、販売日等の記載内容をお確かめになり、大切に保管してください。
- バッテリーは消耗品の為に徐々に容量が低下して、放電出来る時間が短くなります。  
このバッテリー容量低下は保証対象外です。

## アフターサービスについて

- 「故障かな？」と思ったら、もう一度この取扱説明書をご覧になってお調べください。
- 本製品の仕様は予告なしに変更する場合がありますが、製品修理以外の変更、改良はお受けできません。
- 本製品は使用電子部品の製造中止で、修理不能となる場合があります。予めご了承ください。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店にお問い合わせください。  
販売店がご利用いただけない場合は、下記営業窓口にお問い合わせください。
- 修理を依頼される時  
修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。
  - ・ お買上げ時期
  - ・ 商品番号と製造番号（装置側面の銘板ラベルに表示）
  - ・ 故障の状況（できるだけ詳しくご説明ください。）※保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。予めご了承ください。  
※運送中の衝撃などに耐えられるよう梱包をおねがいします。  
※運送中の破損紛失などについては当社では一切の責任を負いません。

お問い合わせ先	株式会社 アイ・ディー・エクス 営業窓口 電話：044-850-8801 メール：idx.japan@idx.tv 受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00 (土日、祝日、年末年始および当社指定休業日は除く)
---------	---

## ポータブル電源保証書

品名	型式
ポータブル電源	IPS-1600A-B/Y
製造番号	
保証期間	1年間
販売日	
販売店名	
お客様	お名前 様
	ご住所：〒 -
	電話番号：

本保証書は、保証期間内に正常なご使用状況で故障・異常が発生した場合のみ無償修理もしくは交換を保証するものです。

本保証書はいかなる場合においても、再発行いたしませんので、お手元に大切に保管してください。



株式会社 アイディーエクス

〒214-0021

神奈川県川崎市多摩区宿河原 6-28-11

販売店様へ：保証書の販売店、販売日をご記入いただき、販売店様のご捺印の上、本書をお客様へお渡しください。

## 免責事項

保証期間内であっても以下の場合には有償修理となります。

### 1. 下記の事由による故障または損傷

- ①保証書の提示がない場合、購入年月日・販売店名が不明な場合
- ②本製品のラベルに記載の製造番号が確認出来ない場合
- ③本製品に接続された電気製品から受けた障害による場合
- ④本製品の蓋を開ける、分解、改造、修理を行った場合
- ⑤取扱説明書に反する使い方
- ⑥製品周りの掃除等、取扱説明書に記載した設置環境の状態維持を著しく怠ったことに起因する場合
- ⑦地震、風水害、津波、落雷、噴火、その他の天災地変などの自然災害、火災、公害、外来の事故または、その他不可抗力もしくは虫、鳥、ネズミ等の動物に起因する場合
- ⑧取扱説明書に記載してある以外の使用電源（電圧・周波数）での使用
- ⑨経年変化または通常の使用状態により発生した変色、音、振動、錆、傷
- ⑩取扱い上の不注意（落下・転倒・衝撃・水掛かり・機器内部への水、砂、薬品の入りこみなど）による故障
- ⑪前記以外で当社の責に帰することの出来ない原因により生じた故障

### 2. 次に示します費用はお客様負担となります。

- ①本製品の故障・損傷によって生じたいかなる不利益について保証いたしません。
- ②販売店以外での修理費用
- ③修理依頼品の送料

---

×E

---

×E



**株式会社 アイ・ディー・エクス**

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 6-28-11

<https://www.idx.tv/jp.html>